

第 1 1 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

○みどり市との合併について、とりあえず桐生市だけでも任意合併協議会を立ち上げたらどうでしょうか。議会レベルでも合併特別委員会を立ち上げるべきです。桐生市側だけでもそのような姿勢を示すことによって、みどり市側にも合併の意識を持たせるべきである。

(回答)

合併協議会の立ち上げは両市の合意の上で成立します。
議会では、現在のところ合併特別委員会を立ち上げる考えはございませんが、合併問題を含む人口減少問題を議論する、地域政策調査特別委員会で様々な議論をしています。

また、議会としては、みどり市議会に対してもアプローチを続けていきます。

○桐生から北関東道の薮塚 I C まで約 20～30 分ほどかかります。せめて 10 分位でインターに到達できるようにアクセス道を考えるべき。

(回答)

議会は、ご意見の通り北関東道へのアクセス道の整備について急務と考えています。

現在桐生市では、中通り大橋からの延伸を中心に実現に向けて努力をしていますが、どのアクセス道を整備するとしても他市を通過する必要があることから、桐生市及び桐生市議会では粘り強く群馬県や関係する市に対して要望をしているところです。

○旧桐生市内にもみどり市内で運行されているデマンドバスや電話でバスを導入させるべきです。おりひめバスは空気を運んでいる感じですし、MAYU もあまり実用性がないように思えます。桐生は高齢化率が高く運転免許返納者がどんどん増加していきますので、市内の細かい箇所を巡るこのようなバスの必要性は高いと思います。

(回答)

おりひめバスを含む公共交通は、市民にとりまして大変重要な交通機関です。一方、ご意見の通り今後の在り方、運行形態について検討が必要な時期でもあると考えます。ご意見は、所管する広域調整室にお伝えします。

第 1 1 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

○赤字ローカル線であるわたらせ渓谷鉄道に多額の財政を投じていくのを（財政難の折）考える時期にさしかかっていると思います。存続か廃止かを検討すべき時期にさしかかっていると思います。

（回答）

桐生市にとりましてわたらせ渓谷鉄道は重要な公共交通機関です。特に交通弱者をはじめ沿線住民にとってはなくてはならない貴重な足として重要な役割を果たしています。

桐生市及び桐生市議会は、平成 26 年度もわたらせ渓谷鉄道に対する支援を継続してまいります。ご意見は、所管する広域調整室にお伝えします。

○桐生市は若い議員が多いのに若者向けの施策がないように思えます。若者が魅力を感じるような街づくりをすべきです。

（回答）

桐生市議会は、平成 26 年度予算を可決しました。その中には、人口減少対策として子育て世代に重点を置いた政策である、扶養第 3 子以降における保育園・幼稚園の保育料無料化（影響額約 70,000 千円）をはじめ、桐生市独自の教育政策であるサイエンスドクター事業（4,316 千円）、子供の夢と感性を育む未来創生塾への支援（500 千円）、企業誘致に向けた新たな工業団地（武井工業団地周辺西地区）の造成に向けた調査や道路整備（20,517 千円）、企業立地優遇制度の拡充（10,391 千円）、定住促進事業の拡充（2,301 千円）など、以上の政策だけで合計 108,025 千円を実施します。また、市議会は人口減少問題、特に若者世代の人口減少問題を解決するべく、地域政策調査特別委員会を立ち上げ議論を進めています。

○財政難の折、議員報酬を 30%位カットすべきです。

（回答）

議員報酬は、平成 20 年度から議員自らの努力により 10%減額しておりましたが、平成 23 年 10 月の報酬審議会において、12%減額の答申を受け、現在 12%減額の議員報酬となっております。現在のところ、現行報酬から 30%位カットは考えておりません。

第 1 1 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

○議会報告会で参加市民の質問事項を紙に書かせ、それを報告会当日に提出させて後半の質疑応答で司会が読み上げて各議員が返答するという方式をとったらどうでしょうか。時間の短縮になるし人前で話せない人も質問できるようになると思います。

(回答)

事前に質問を把握できることは、議論を深める方法のひとつであり有用性の高いご意見であると考えますが、現在のところ当日以前に質問を受ける制度になっておりません。今後検討をさせていただきます。

○中高年の再就職に伴う転出が非常に多く好ましくありません。また新居建設に伴う転出も好ましくないので施策を考えるべきです。

○若い女性を桐生から転出させない策を興じるべきです。若い女性が転出してしまうと桐生は少子化が進んでしまいます。何と言っても若い女性は子供を産めるので若い女性の転出は多大な損失です。桐生の若い女性の就職の際には（市役所、信金、保育園、市の機関など）最優先で採用し桐生に居住させるべきです。そして桐生で結婚して子供を産ませるべきです。

○若者が住める桐生市を目指し頑張ってください。

(回答)

若年層をはじめとした恒常的な市外流出などにより人口減少が進行しており、人口減少が及ぼす影響は大変大きな問題であることから、一刻も早く有効な施策を実施する必要があります。桐生市では、子育て世代をターゲットとした第一段階の事業が 26 年度から本格実施されます。市議会は、現在人口減少問題の解決に向け地域政策調査特別委員会を立ち上げ議論をしており、年内中に提言書をまとめ上げ桐生市に提出する予定です。

○病院の充実（安心して病気になれない現状）

(回答)

ご意見を所管する保健福祉部にお伝えします。

第 1 1 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

○市当局から提案された議案を審議し賛否を決するだけでなく、市議会として事前に発言、提出をすべきと考える。市民の立場で見ていると御用市議会の様にしか見えない、残念である。

(回答)

ご意見の趣旨は、議員提出議案のことと理解いたします。平成 25 年の定例会において、議員による提出議案は 8 議案ありました。主な議案として、桐生市議会基本条例案、地域政策調査特別委員会設置に関する決議案などを提出しております。

○人口減少問題、2035 年に全国で人口は 7,000 万人台になる。その時、日本は経済破綻をきたす。今から手を打っても遅いと言われる。早期に根本的政策を国に提言すべきです。

(回答)

桐生市の喫緊の課題である人口減少問題については、桐生市による人口減少対策だけでなく、市議会においても、人口減少問題の解決に向けた議論を進めているところですが、人口減少問題は全国共通の解決すべき課題であるとも考えておりますので、国に対する意見書の提出などについても検討させていただきます。

○各委員会報告について、資料の文字を読み上げるだけならばあまり意味がないのでは。もっと各委員の言葉で説明をしなければと思ってしまった。

○議会報告会も 10 回を超えたのでそろそろ新しいやり方を考えた方がよい。

(回答)

議会報告会・意見交換会実行委員会の中で検討させていただきます。

○議案についての説明は、全部を同じように扱うのではなく重要な案件、争点のない条例改正などめりはりをつけて分かりやすく。

(回答)

今後の参考にさせていただきます。

第 1 1 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

○小さい視点からですが、家庭でも大家族はわずらわしい、面倒な部分も多いですが、より良い道德性を持った家長がいて家庭がまとまっているとその家は力強く安心で成長があります。これを地域、市、国に置き替えた時、より良いリーダーの元に人材がそろっていると、その地域、市、国は発展があります。今、少子高齢化の現状、すべての人が生涯現役でいる必要があると思う。お年寄りでも元気な人は、働ける場を（ボランティア）いろんな場面で（例 買い物難民が多いと聞く）そして、それを還元できるしくみを作ってほしい。

（回答）

ご意見を参考に議会で検討させていただきます。

○市長も参加してほしい。

（回答）

市長と議会は二代表制の下、常に緊張関係にあります。市政発展と市民の皆様のための福祉向上を目指す点では同じ目標を持ちます。両者の関係はよく車の両輪に例えられます。ですので、議会主催の報告会・意見交換会に市長が参加することは難しいと考えます。

○バスを利用させてもらいたいと思いますが、交通機関を利用するのにあたり駅に着くのが発車の後という時刻ばかりで利用できません。

（回答）

おりひめバスは重要な公共交通機関です。ご意見を参考にさせていただき、所管する広域調整室にお伝えします。

○企業の協力。

（回答）

企業の協力は桐生市発展に欠かせないものと考えます。今後もあらゆる連携を模索します。

○観光はむだ。

（回答）

桐生市勢発展のためには、観光は大切な一つの政策であると考えております。

第 1 1 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

○桐生に美術館、博物館を早く作ってほしい。

(回答)

ご意見を所管する企画課にお伝えします。

○民生委員の増員が必要と思う。

(回答)

ご意見を所管する福祉課にお伝えします。

○市内は道が狭く、緊急車両が入れない所もある。区画整理を進める予定があるか。

(回答)

予定はありませんが、ご意見を所管する都市計画課にお伝えします。

○みどり市との合併に格段のご努力をお願いしたい。

○市の合併について進めてほしい。

(回答)

合併実現に向け、あらゆる角度からアプローチをしていきます。

○空地が多くなり、人口が少なくなり、市営住宅推進を望む。

(回答)

市営住宅の新設の計画は、現段階ではありませんが、老朽木造住宅団地については、順次解体し、宅地分譲地等として活用する方針となっています。

なお、黒保根町地域については、過疎地域自立促進計画に基づく定住促進建設事業として建替えを検討していくとの回答を得ています。

○高齢福祉関係の議題がない。高齢者のことを考えてほしい。

(回答)

桐生市では、高齢者の皆様が生きがいを持ち安心して暮らせるまちづくりを目指しています。ご意見を長寿支援課にお伝えします。

第 1 1 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

○要望ではなく感想ですが、各議員の皆さん方は大変勉強されており、答弁も適切で明瞭でありました。

(回答)

ありがとうございます。今後もよりよい報告会・意見交換会になるよう努力します。

○公的施設の改修の件はよろしくお願いいたします。

(回答)

市有施設の改修計画が昨年度策定されました。今後計画的に改修される予定です。

○河川の防災について、広見橋と八坂橋の間（東側）の土堤の整備を国交省に聞いてみてください。

(回答)

ご意見を所管する土木課にお伝えします。

○積極的に議員の方の意見が出るようにもつとなれば良いと思う。

(回答)

ご意見を参考に検討します。

○議会改革について両毛地区のトップをいく先進的な取り組みに敬意を表します。足利市議会でも少しずつではありますが、改革の取り組みを進めておりますが、少なからず抵抗感を持つ議員がいる中で、その歩みは早くならず焦りを感じております。議会改革の取り組みを進める中での裏話等をお聞かせいただける機会があればありがたい限りです。本日は勉強させていただきありがとうございました。

(回答)

ありがとうございます。これからも切磋琢磨して両毛地域の発展のため共にがんばりましょう。

第 1 1 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

○ まず、感想ですが質問に対する答弁におかれては、内容的にも経過内容も含めて具体的（区長手当の金額）に大変理解しやすかったように感じました。専門分野における学習面の認識を合わせて感じました。大変良かったです。

一般的な運営方法でよりよい一面として（生意気ですが）例えば今回（6区、7区合同）の場合でも、私は大事業とっておりましたので、地区の代表の方々と質問内容（地域の諸問題等）の打ち合わせがありますと、さらに意義ある意見交換会・報告会になろうかと思いました。その理由は全議員の皆さんが多用の中を都合つけて戴いての会合というだけでも、出席者は嬉しさを表に出しません、気持ちではかなり高ぶっていたということです。（全員の議員さん方とは市議会議場以外は無いわけです）（それなりの下から目線をいうことです）

（回答）

ありがとうございます。これからもよりよい報告会・意見交換会になるよう努力します。

○ 予め問題となっている地域の件を議題に持っていけば多少展開も変わっていくと思います。その地域に出向いた意義も感じるといいますし、地域に関心を持って戴いていると思います。無論、市政・行政の件も加わってよろしいかと思ひます。

今回の全体的空気から発言を遠慮しましたが、東地区に接している桐生川の土堤の改修の件です。

① 広見橋と八坂橋の間の東側（山際）には、堤防の必要性を感じております。山の傾斜を土堤に考えているようですが、安心・環境の面からも不安を感じます。上部分には城の丘団地もあることですし、多少の土堤らしき堤の必要性をと思ひます。おそらく地質面やさらに桐生川の全体の流れの状況を考慮してのことと思ひますが。

② 八坂橋の少し下流に「水門」がありますが、上流から大水が激流した様相の時にはあの箇所が左側に急カーブであるので、水門の周辺の堤防の高さでは冠水（堤防の決壊しなければ良いが）は予測されます。その結果、浜松町は浸水となり、影響が東地区にも及ぼすと考えております。ぜひ、国交省に機会をみて聞いて戴ければと思ひます。財政上の問題なればその時が来るまで仕方がないと思ひております。

（回答）

東地域の皆様の水害に対する危機管理意識の高さを改めて実感しました。議会でも東日本大震災以降、想定外の被害を想定し、地域防災計画に反映するよ

第 1 1 回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

うに取り組んでおりますが、今回の質問につきましては、土木課に確認したところ、国土交通省の見解としましては、①の広見橋と八坂橋の東側については、自然の山付堤防につき整備計画はございませんでした。また、②の八坂橋下流部については、将来計画として堤防補強工事を検討しているとのことでした。